



J.Fukuda

サマー2000シリーズ

THE HAKODATE KINEN

第61回 農林水産省賞典 **函館記念** (GIII)

1着	2着	3着	4着	5着
本賞 43,000,000円	17,000,000円	11,000,000円	6,500,000円	4,300,000円
付加賞 497,000円	142,000円	71,000円		



レース映像は
コチラでご覧

3歳以上、2024.6.22以降2025.6.22まで1回以上出走馬、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 ハンデキャップ

3歳以上、2024.6.22以降20

2025.6.29 函館 晴・良 芝2000m 特指

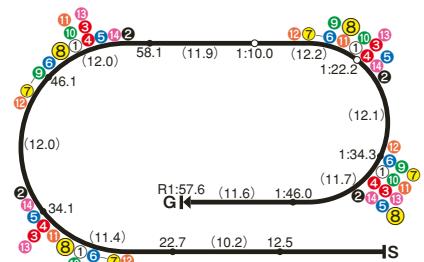
着順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (着差)	コーナー 通過順位	上り (600m ^{×4})	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑧	ヴェローチェエラ	牡4	56	佐々木大輔	R1:57.6 8-10-9-2	34.7 496(+ 2)	13.0⑩	須貝尚介(栗東)	111		
2	③	ハヤテノフクノスケ	牡4	56	横山史一	1½ 4-4-4-5	35.3 532(- 4)	9.0⑨	中村直也(栗東)	108		
3	⑫	マイネルメモリー	牡5	55	菱田裕二	クビ 14-14-14-14	34.2 466(+ 2)	73.5⑯	宮 徹(栗東)	105		
4	⑦	ディマイザキッド	牡4	56	岩田康誠	¾ 13-13-11-11	34.5 460(± 0)	6.5⑤	清水英克(美浦)	106		
5	⑪	ランスオブクイーン	牝4	54	齋藤 新	クビ 7-7-9-8	35.2 450(+ 4)	11.8⑧	奥村 豊(栗東)			
6	⑨	アルナシーム	牡6	59	藤岡佑介	¾ 9-12-11-11	35.0 452(+ 6)	11.9⑨	横口憲介(栗東)			
7	⑥	サンストックトン	牡6	55	浜中 俊	1¾ 12-11-11-11	35.4 468(± 0)	47.8⑬	堀内岳志(美浦)			
8	⑤	ボーンディスウェイ	牡6	56	木幡巧也	1½ 3-3-2-2	36.3 498(- 4)	10.7⑦	牧 光二(美浦)			
9	④	キミノナハマリア	牝5	54	駿島克竜	クビ 4-4-4-5	36.1 512(+ 6)	16.2①	千田輝彌(栗東)			
10	⑯	トップナイフ	牡5	57	横山和生	3 2-2-2-2	36.8 492(± 0)	7.9④	昆 貢(栗東)			
11	⑬	マコトヴェリーーキ	牡5	57	北村友一	クビ 4-4-4-5	36.6 472(+ 6)	7.3②	上村洋行(栗東)			
12	①	マイネルモント	牡5	56	丹内祐次	ハナ 9-7-7-8	36.5 466(- 6)	7.4③	高木 寅(美浦)			
13	⑩	グラントディア	騒6	56	三浦皇成	クビ 9-7-7-8	36.5 480(- 4)	8.5⑤	中田充正(栗東)			
14	⑭	アフロワーラ	駒7	55	川田吉洋	2 1 1 1 1	37.5 495(- 6)	26.4⑩	川田吉洋(栗東)			

米端②1,200円(12L)、梅端②450円(12L)、②870円(7L)、②1,410円(14L)、抹茶②②1,200円(5L)

単勝⑧1,300円(10人気) 複勝⑧450円(10人気) ③370円(7人気) ⑫1,410円(14人気) 枠連③-⑤1,290円
 優連②⑦370円(45人)、⑧1,410円(55人)、⑨⑩12,500円(221人)、⑪⑫2,000円(221人)

馬連③-⑧7,720円(45人気) ワイド③-⑧2,950円(55人気) ⑧-⑫13,560円(89人気) ③-⑫8,690円(80人気) 馬券②-⑫14,620円(27人) 3連複②-⑫155,610円(202人) 3連単②-⑫607,990円(1,023人)

馬単⑧-③14,680円(87人気) 3連複③-⑧-⑫155,010円(339人気) 3連単⑧-③-⑫697,990円(1,832人気)



通過タイム : 600 ドル 800 ドル 1000 ドル 上り : 800 ドル 600 ドル

アラカルト

- ・佐々木大輔騎手は函館記念初勝利。JRA重賞は本年初勝利、通算4勝目
 - ・須貝尚介調教師はアドマイヤジャスタで制した20年に続く函館記念2勝目。JRA重賞は本年2勝目、通算53勝目
 - ・リアルスティール産駒はJRA重賞通算6勝目
 - ・4歳馬の勝利は23年ローチャムパーク以降3年連続、通算23回目
 - ・勝ちタイム1:57.6は88年の本競走でサッカーボーイが記録した1:57.8を0.2秒更新するコースレコード及びペースレコード

ヴェローチェエラ *Veloce Era*

牡 鹿毛 2021.3.5生
北海道安平町 ノーザンファーム生産
馬主・合同会社TO RACING 栗東・須貝尚介厩舎
馬名意味・速い(伊) +時代(伊)

リアルスティール 鹿毛 2012		イプスウィッチIRE系 F9-f	
ディープインパクト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA ウインドインハーヘアIRE		
ラヴズオンリーミーUSA 鹿毛 2006	Storm Cat Monevassia		
イプスウィッチIRE Ipswich 栗毛 2010		Danehill Dancer 鹿毛 1993	Danehill Mira Adonde
		Imperial Beauty 黒鹿毛 1996	Imperial Ballet Multimara

5代までのインブリード: Northern Dancer S 5×M5×M5

INTERVIEW

木村浩崇厩舎長(ノーザンファーム早来)

チャンスはあると思っていました

大阪一ハンブルクCの後に牧場へ戻ってきたのですが、5月上旬に須貝調教師が馬を見に来た際に、函館記念への出走を目指すことになりました。10日前入厩となったものの、メンバー的に重賞を勝つチャンスはあると思っていました。管理を任せられた自分たちにとっても嬉しい勝利となりました。レース後は再び牧場へ戻り、札幌記念に向けての調整を行っています。



リアルスティールの2世代目の産駒にあたる本馬は昨秋、1勝クラスから3連勝を飾つてオープン入り。1月の日経新春杯では1番人気(4着)、続く阪神大賞典でも2番人気(5着)に支持された。長めの距離で実績を積み上げただけに、小回りの2000m戦への対応を懸念する声も聞かれたが、新鋭騎手の思い切ったリードに応えてむしろ高い適性を証明。重賞初制覇を果たすとともに、今後の選択肢も広げ

父リアルスティール

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央、首17戦4勝(ドバイターフ・首G1、毎日王冠G1、共同通信杯G1、皐月賞G12着、菊花賞G12着、天皇賞(秋)G12着、神戸新聞杯G12着、スプリングS G12着、ドバイターフ・首G13着) 19年から日、豪で供用
【代表産駒】**フォーエバーヤング**(サウジC・沙G1、東京大賞典G1、全日本2歳優駿JpnI、沙G3、JBC 2歳優駿JpnIII、ケンタッキーダービー・米G13着、BCクラシック・米G13着、ドバイワールドC・首G13着)、**レーベンスティール**(オールカマーG1、セントライトイ記念G1、エプソムC GIII)、**チカッパ**(東京盃JpnI、II、北海道スプリントC JpnIII、JBCスプリントJpnI 2着)、**オールバルフェ**(デイリー杯2歳S G1)、**カナルビーグル**(ユニコーンS G1)、**ヴェローチェエラ**(本馬)、**ヴィンセンシオ**(弥生賞ディープインパクト記念G1 2着)、**ノイジーボーイ** Noisy Boy(タロックS・豪G2 2着)、**アレンジャー**(アーリントンC G1 2着)、**ティラトーレ**(フェアリーS G1 2着)、**ドナベティ**(ファンタジーS G1 2着)、**タイセイプランセス**(フローラS G1 3着)

母イプスウィッチIRE

仏11戦2勝(ヴィシー大賞G3 2着、ラクーブG3 2着、ジャクエラフィット賞・L 3着)、14年輸入
パンドラ(16 牝父ハーツクライ)中央6戦0勝
マルボルク(17 牝父オルフェーヴル)中央3戦0勝
アゼルスタン(18 牝父ドゥラメンテ)中央5戦1勝
マディストホープ(19 牝父ハーツクライ)
オックスリップ(20 牝父サトノダイヤモンド)中央19戦3勝

ヴェローチェエラ 本馬(21 牝父リアルスティール)中央11戦5勝(函館記念G1、比叡S、ルスツ特別、京都新聞杯G1 3着)獲得総賞金127,339,000円(22 生後直死)

ヒスマスターピース(23 牝父スクリーンヒーロー)
(24 牝父ステルヴィオ)
(25 牝父モーリス)

祖母インペリアルビューティー Imperial Beauty

アメリカ産 仏、英4勝(アベイドロンシャン賞・仏G1、ヨークサマーS・英L、ドバイワールドトロフィー・英L、アベイドロンシャン賞・仏G1 2着、チヴァリーパークS・英G1 2着、キングジョージS・英G3 2着)、**ピュアリー・アトミック** Purely Atomic(イーストケープバドックS・阿L)、**ドバイフォーカス** Dubai Focus(チーアマンズS・豪G3 3着)の祖母

6週間の日程で実施される函館開催の3週目に組まれた今年の函館記念は、歴史的なレコード決着と記録的な波乱に沸いた。1988年にサッカーボーイが樹立して以来、昭和、平成を通じて破られなかつたコース及びレースコードを、10番人気の伏兵ヴェローチエラが37ぶりに更新して快勝。2着には6番人気のハヤテノフクノスケ、3着にも14番人気のマイネルモリーが食い込んだ結果、3連単はレース史上3位の高配当(69万7990円)が飛び出した。

1番人気の支持を集めたディマイザキッドの単勝オッズ(6・5倍)が物語るように、例年以上の混戦ムードが立

上3位の高配当(69万7990円)が飛び出した。 対して中団の外を進んでいたヴェローチエラの佐々木大輔騎手は3コーナーから一気にスパート。馬群の外をまくり上げて前に迫り、直線入口では早くも先頭に躍り出る。スピードに乗つたヴェローチエラの脚勢は陰らず、ラスト1/2も11秒6でフィニッシュ。2着馬マイネルモリーは後方2番手で末脚ディマイザキッドは後方2番手で末脚を温存した。

3着馬アウスヴァール。とはいえ2番手以下にプレッシャーをかけられてペースを落とせず、前半1000mの通過は58秒1と厳しい逃げを余儀なくされる。2番人気の支持を集めた阪神大賞典の2着馬マコトヴェリーキーは4番手の外を追走。3番人気の中山金杯2着馬マイネルモリーは中団のイン、ディマイザキッドは後方2番手で末脚を温存した。

歴史的なレコード決着と高配当に沸く